

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

8月24日(火曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

ユーロ/円、年初来安値が視野に

23日(月)の主な推移



期間：23日(月)午前7時～24日(火)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 週末21日の豪総選挙で、いずれの党も過半数に達しない「ハング・パラメント」の状態になる事がほぼ確実となった。これを受けて、政局不透明感が強まり豪ドル/円は20日のNY市場の終値から50銭以上下落して取引が始まった。ただ、豪ドル/円に対する押し目買い意欲は強く、日本政府や日銀の円高対策への期待も手伝って、75円台では底堅く推移した。
- ② 独8月の製造業PMI・速報値が58.2と事前予想を下回った。さらにユーロ圏8月製造業PMIも55.0と前月から低下した。欧州中央銀行(ECB)の低金利政策長期化観測に加え、ユーロ圏経済に対する懸念からユーロはジリ安となった。
- ③ 一時前日比90ドル超上昇していたNYダウ平均が、米国経済の減速懸念を背景に上げ幅を縮小すると、リスク回避の動きが強まりユーロや豪ドルが下落した。さらに、NYダウ平均が前日比マイナス圏まで値を下げるとユーロ/円は107.70円、ユーロ/ドルは1.2646ドル、豪ドル/円は75.97円までそれぞれ下落した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2550-1.2750ドル
ユーロ/円: 106.30-108.50円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 74.70-76.70円

日銀の追加緩和観測がやや後退する中、円はジリ高で推移する一方で、20日のウェーバー独連銀総裁の発言を受けて、欧州中銀(ECB)による金融緩和状態の長期化観測が強まった事でユーロはジリ安となっている。これに主要国の株安というショックが加われば、ユーロ/円は6月29日に付けた年初来安値である107.27円の更新が視野に入ってくる。特に景気減速が懸念される米国では、NYダウ平均の値動きが不安定となっており、7月中古住宅販売件数や8月リッチモンド連銀製造業景況指数などの経済指標の結果が、株価に及ぼす影響に注目しておきたい。(神田)

本日も、積極的にリスクを取る機運は高まりにくい地合いとなりそうだ。米国景気の減速懸念、欧州経済への懸念に加え、円高懸念から本邦株式市場が軟調に推移するなかでは、豪ドル/円の上昇余地は乏しそうだ。海外市場ではNY株価に与える影響の大きさから、米7月中古住宅販売件数に注目である。事前予想では465万件と2009年6月以来の低水準が見込まれており、過去最低水準である453万件も視野に入る。米住宅市場に底割れ感が出るようだと、リスク回避の動きが強まる可能性が高い。豪ドル/円は、目先的には20日に付けた安値である75.49円の攻防がカギになりそうだ。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/24(火)	15:00		(独) 第2四半期GDP・確報 [前期比]	+2.2%	+2.2%
	23:00	◎	(米) 7月中古住宅販売件数	537万件	465万件
	23:00	○	(米) 8月リッチモンド連銀製造業指数	16	8
	26:00		(米) 2年国債入札(370億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com